

大阪市立大学夢基金へのご支援のお願い

本学は「大阪市立大学夢基金」を平成26年10月1日に設立し、より高度な教育・研究の推進等をすすめることといたしました。本学が今後も皆様に愛され、夢のある魅力あふれる大学であり続けるために構成員一同、より一層の努力を重ねてまいります。今後とも本学の教育・研究活動にご注目いただきますとともに、本基金の趣旨をご理解いただき、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

大阪市立大学夢基金の概要

個人、団体を問わずご賛同賜り、大阪市立大学にいただいたご寄附は以下の事業に活用いたします。

TOP 1 「創立140周年記念事業」のために

2020年創立に140周年を迎える本学の更なる教育・研究環境の整備と内外への魅力発信のための事業費

1 「大学の発展」のために

大学の基盤となる教育・研究に係る整備、充実のための事業費（大学の基盤事業充実費）

2 「課外活動支援」のために

2-1 「課外活動施設」の充実のために

学生生活における課外活動を充実させるために、体育会系及び文化系クラブの部室や共有のミーティングルームなどの施設整備のための事業費

2-2 「課外活動団体」の発展のために

特定の課外活動団体を支援するための事業費（寄附を希望するクラブ・団体名を指定していただけます）

3 「全天候型グラウンド」の整備のために

スポーツ環境を充実させるために、関西の公立大学初の全天候型グラウンドの整備をめざすための事業費

4 「グローバル人材の養成」のために

国際社会で活躍する人材を養成するために、学生の海外留学・渡航支援や海外からの留学生との交流等のための事業費

5 「社会連携」のために

社会との緻密なネットワークづくりのために、市民や学生が参加できる講演会等のイベントや学生が地域と連携したボランティア活動等を行うための事業費

6 「医療・保健推進」のために

医学の発展・医療環境の整備および保健事業の充実のための事業費

7 「理学部附属植物園」の充実のために

植物園にかかる研究・教育環境の充実、来園者の快適性の向上に向けた施設の整備・補修のための事業費

お問い合わせ 大学サポーター交流室（大阪市立大学夢基金）

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

TEL:06-6605-3415（平日9時～17時）FAX:06-6605-3416 Eメール:yumekikin@ado.osaka-cu.ac.jp



アクセス

- JR東西線「北新地駅」下車、徒歩約3分
- JR大阪環状線、東海道線「大阪駅」下車、徒歩約10分
- Osaka Metro四つ橋線「西梅田駅」下車、徒歩約5分
- Osaka Metro谷町線「東梅田駅」下車、徒歩約10分
- Osaka Metro御堂筋線「梅田駅」下車、徒歩約10分
- 阪神電鉄「梅田駅」下車、徒歩約10分
- 阪急電鉄「梅田駅」下車、徒歩約15分

大阪市立大学
地域連携センター

●地域貢献情報や公開講座の開催をお伝えしています。

Facebook
はじめました!

いいね!
ポチッとクリック
おながいします

UCU

https://www.facebook.com/osaka.cu.4c



大阪市立大学文化交流センター

〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階
TEL:06-6344-5425 FAX:06-6344-5524

<http://www.osaka-cu.ac.jp/>

2019年度

大阪市立大学 公開講座

OPEN LECTURES

大阪文化の情報発信基地
大阪市立大学文化交流センター

募集案内

開講期間：2019年9月～12月

災害時の弱者・福祉・健康を考える

災害時の周辺環境の変化に伴って、高齢者・子ども・障がい者・外国人・妊産婦などの人々は大きな影響を受けます。健常者でも災害後の生活での健康管理は重要な観点です。この講座では、災害弱者・健康面の問題に視点をあてるとともに日頃からのつながりについて考えます。

もしも災害が起こったら — 子ども(病児・障がい児を含む)を守るために大人ができること、子ども自身ができること —

9月5日 木
夜 6:30~8:00

日本は、台風や地震などの自然災害が発生しやすい国と言われています。もしも災害が起こったら、子ども(病児や障がい児を含む)を守るためにどのように行動すればよいのでしょうか。大人ができること、子ども自身ができることを一緒に考えてみましょう。

講座の難易度 ★

大阪市立大学大学院 看護学研究科 教授/都市防災教育研究センター 兼任研究員 平谷 優子・横山 美江

災害を乗り越えるための“つながり”

9月12日 木
夜 6:30~8:00

災害発生時にまず必要となるものは、日頃からのつながりを基盤とした、人と人との「支え合い」です。本講座では、平時から顔のみえる関係をいかに構築しておくかなど、地域防災力における地域の「つながり」について考えます。

講座の難易度 ★★

大阪市立大学大学院 生活科学研究科 准教授/都市防災教育研究センター 兼任研究員 野村 恭代

災害時要援護者としての外国籍住民支援と災害福祉への課題

9月19日 木
夜 6:30~8:00

近年、東アジア各都市で、越境的な人口移動が加速化しています。本講座では、「災害時要援護者」として外国籍住民を捉え、国内外の事例を紹介しながら、多文化共生と支援の課題について考えます。

講座の難易度 ★★

大阪市立大学 都市研究プラザ 教授/都市防災教育研究センター 兼任研究員 全 泓奎

災害時の避難に必要な体力 — 自助・共助の観点から —

9月26日 木
夜 6:30~8:00

阪神・淡路大震災で命を守ることでできた人の98%は自助・共助によるものであり、一方、東日本大震災での死者は6割が60歳以上の高齢者でした。ここでは、これらの背景から災害時の避難に必要な体力について考えます。

講座の難易度 ★

大阪市立大学 都市健康・スポーツ研究センター 講師/都市防災教育研究センター 兼任研究員 今井 大喜

私たちの暮らしとお金を考える

私たちを取り巻く経済情勢と投資環境はこの1年でどのように変化してきたのでしょうか？今年各テーマに基づき深掘りした、単独のセミナーを行います。

人生100年時代を見据えた資産管理

10月1日 火
夜 6:30~8:00

金融と経済の基礎知識をひも解き、ライフプラン・マネープランへの活用を考えます。

講座の難易度 ★★★

野村證券株式会社 投資情報部 ファイナンシャルプランナー 田中 政広

歴史統計の推移から考える証券投資

— 何が起きたのか、何が起きるのか? —

10月8日 火
夜 6:30~8:00

戦後のインフレから令和のインフレへ、歴史的推移から考えられる今後の日本の課題とは？

講座の難易度 ★★★

野村アセットマネジメント株式会社 投資信託営業統括部 シニア・マネージャー 増山 豊

資産運用の基礎と市場展望

10月15日 火
夜 6:30~8:00

知っておきたい運用の基礎と注目ポイントについてお伝えします。

講座の難易度 ★★★

野村證券株式会社 梅田支店 シニアアドバイザー 鈴木 望

人生100年時代に備える資産運用のコツ

— コア・サテライト戦略の考え方 —

10月23日 水
夜 6:30~8:00

人生100年時代に備える負けない運用のコツ、コア・サテライトの考え方をご紹介します。

講座の難易度 ★★★

野村アセットマネジメント株式会社 投資信託営業部 マーケティングマネージャー 茂木 大輔

※講師の所属、役職は令和元年7月のものです。

講座の
難易度の目安

★	一般市民向け 入門講座等
★★	一般市民向け 初級講座等
★★★	一般市民向け 中級講座
★★★★	専門家向け講座・研修 中級
★★★★★	専門家向け講座・研修 上級

中世の渡辺と渡辺党 — 淀川をめぐる武士団と信仰 —

難波京廃絶後、大坂本願寺ができるまで、上町台地北端はどんな様子だったのでしょうか。淀川をさかのぼって京都とをむすぶ舟運は衰えることはありませんでした。当時は(旧)大和川もここへ流れ込んできていました。また天満以北から大川を渡り、四天王寺から住吉・堺方面へつづく街道をとる旅客や物資も少なくありません。この街道が大川を「渡る辺(あた)り」が「渡辺」でした。水陸の要衝である渡辺には港町(渡辺津)が形成され、その付近を本拠とする武士団＝渡辺党は平安時代から鎌倉時代を中心に活躍します。本講座では、渡辺党の組織や行動、当時の大阪平野の地形や渡辺津の実態、天満天神社とその周辺など、多様な角度から中世の渡辺について解明してゆきます。

水の中世武士団渡辺党

11月5日
夜 6:30~8:00

渡辺と呼ばれた大川一帯には、渡辺津を中心に活動し、淀川の水上交通に関わった、渡辺党という水の武士団がいました。彼らは平安時代から公家社会とのつながりを持ち、鎌倉幕府成立後には幕府の御家人となるなど、多様な側面を有していました。南北朝時代以降は戦乱に巻き込まれて衰退してしましますが、大阪市域には彼らの残した足跡がいくつも残されています。そんな渡辺党の平安時代から南北朝時代にかけての活動を紹介します。彼らの歴史的な位置を追究します。

講座の難易度 ★★

花園大学 文学部 専任講師 生駒 孝臣

大川の変遷の中から中世の地形を読む

11月12日
夜 6:30~8:00

大阪市の北区と中央区を分けて西へ流れる大川は、およそ2000年前の弥生時代中期には天満砂州と難波砂州の間を、現在より少し南を流れていました。現在の位置を流れるようになるのは中世の後半です。大川縁では古墳時代中期の物資の中継港から古代の官宮港・難波津が発展し、やがて中世・渡辺津が繁栄します。そのような大川の移り変わりをとおして、中世の大川とその周辺の地形復元を試みます。

講座の難易度 ★★

大阪市文化財協会 学芸員 趙 哲 済

中世の天満と天神社

11月19日
夜 6:30~8:00

渡辺津は大川南岸にありましたが、渡辺という地域は大川をはさんで南北に広がっていました。そのうち、ふだん「天満」と呼んでいる北側の地域(北渡辺)を今回は対象とします。当地は古代から交通の要地であり、天神社(現大阪天満宮)をはじめとする多くの寺社が存在しました。歴史環境や寺社の動向の分析を通してこの地域の特徴を考え、天満からみた中世渡辺の実態とその変容に迫ります。

講座の難易度 ★★

大阪歴史博物館 学芸員 大澤 研一

中世「なにわ」はどんな場所だったか — 難波宮廃絶から蓮如・大坂御坊建立のあいだ —

11月26日
夜 6:30~8:00

上町台地の先端部は、京都と、瀬戸内、西海、朝鮮半島や中国大陸とを結ぶ交通の要衝でした。そのことは、8世紀末に難波京が廃絶して以降も変わりません。本講座では、渡辺から少し視野を広げた地域において、中世にはどのような歴史が展開したのかを地形、交通路、宗教、武士などの視点から明らかにします。

講座の難易度 ★★

大阪市立大学大学院 文学研究科 教授 仁木 宏

※講師の所属、役職は令和元年7月のものです。

講座の
難易度の目安

★	一般市民向け 入門講座等
★★	一般市民向け 初級講座等
★★★	一般市民向け 中級講座
★★★★	専門家向け講座・研修 中級
★★★★★	専門家向け講座・研修 上級

加齢黄斑変性診療のすべて

11月7日
夜 6:30~8:00

加齢黄斑変性は50歳以上の日本人100人に1人以上起こる比較的身近な眼の病気ですが、最近はiPS細胞を初めて人体に移植した病気としても有名になりました。いったいどんな病気なのか?どんな症状が出るのか?どんな治療をするのか?など加齢黄斑変性に関する全てをお話します。

講座の難易度 ★★

大阪市立大学大学院 医学研究科 教授 本田 茂

「浮世絵」を楽しむ — 広重の名所絵から「浪花百景」へ —

11月21日
夜 6:30~8:00

江戸(東京)のもの、と思われがちな浮世絵ですが、実は上方(江戸時代の大坂)でも浮世絵版画は作られていました。本講座では、大坂の街を描いた浮世絵版画の魅力をご紹介します。

講座の難易度 ★★

大阪市立大学大学院 文学研究科 教授 菅原 真弓

建築が語る神戸・大阪・京都の個性

12月3日
夜 6:30~8:00

幕末以降、西洋建築の影響を受けて建てられた近代の建築には、その場所の物語が詰まっています。豊富な映像と共にその見方を紹介し、神戸・大阪・京都それぞれの都市の個性を、建築を通して解説します。

講座の難易度 ★★

大阪市立大学大学院 工学研究科 准教授 倉方 俊輔

「えきがく」入門

12月5日
夜 6:30~8:00

みなさんは、「えきがく」と聞いてどのようなことを思い浮かべますか? 私が専門とする「えきがく」は漢字で「疫学」と書きます。疫学を少し具体的に説明すると、『人の集団を観察することで、健康問題の発生状況や関連する要因を明らかにし、予防や対策を立てるための学問』です。文章で書くと少し難しく感じるかもしれませんが、〇〇は認知症予防に効果的! や△△といった生活習慣を続けるとがんになるかもしれません! といったテレビや新聞、週刊誌でよく見かける内容は、疫学を用いた研究で明らかになったものが大半です。本講座では、身近にある健康に関するニュースをより一層理解していただけるよう、疫学の基本的な内容を解説いたします。

講座の難易度 ★

大阪市立大学大学院 生活科学研究科 准教授 鶴川 重和

「見る」能力 — タンパク質で理解する目で光を感じるしくみ —

12月11日
夜 6:30~8:00

ヒトを始めとするさまざまな動物は、目を使ってまわりの様子を光の情報としてとらえています。「見る」とき、目の中では何が起こるのか?いろいろな動物が、色を見分けたり奥行きを知る場合等を例に、光を感じるタンパク質に注目して解説します。

講座の難易度 ★★

大阪市立大学大学院 理学研究科 教授 寺北 明久

化学から見たエネルギー問題

12月12日
夜 6:30~8:00

エネルギー問題は21世紀の人類が直面している最も深刻な問題の一つです。本講座では、我々の研究室でこれまでに取り組んできた光エネルギーを利用して燃料を作り出すために用いられる触媒の研究の一端を紹介します。

講座の難易度 ★★

大阪市立大学大学院 工学研究科 教授 山田 裕介

部落問題の「語りにくさ」について

12月17日
夜 6:30~8:00

部落問題をめぐっては、しばしば、差別について教えるべきでないという反応が出てきます。部落差別が見えにくく、わかりにくいと思われがちなのはなぜでしょうか。日本とアジアの近現代史や人種主義(レイシズム)にかかわる議論を参照しながら、考えてみたいと思います。

講座の難易度 ★★

大阪市立大学 人権問題研究センター 准教授 廣岡 浄進

お申し込み方法のご案内

1 受講申込書

① 受講申込書(右頁)に必要な事項を記入のうえ、**FAX・郵送・窓口** いずれかの方法でお申し込みください。

FAX	06-6344-5524 ※申込書に必ず返信先のFAX番号を記入してください。
郵送	〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階 大阪市立大学文化交流センター ※必ず、82円分の切手を貼付した返送用定型封筒を同封してください。
窓口	開館時間(月～金 9:45～21:30、土 9:45～17:30、日曜日 休館)に文化交流センター窓口でお申し込みください。

② 受講申し込み受付後、「受講票」をお渡し(郵送・FAX)しますので、受講の際には必ずご持参ください。

2 ホームページ

大阪市立大学公開講座のホームページ
<https://www.connect.osaka-cu.ac.jp/openlectures/> から
お申し込みください。

■ 受講料/1回 500円(大阪市立大学の学生は全講座無料) **文化交流センター・野村證券株式会社 共催講座は無料**

■ 定員/各回 120名(先着順)

■ 会場/大阪市立大学 文化交流センター ホール



文化交流センター講座のよくあるお問い合わせ

誰でも受けられますか?	16歳以上の方であれば、住所、勤務地に関係なく誰でも受講できます。
受講料の支払は?	有料の講座は、受付時に当日分の受講料をお支払いください。欠席された回の受講料はいただきません。
クレジットカードの大阪市立大学カードを持っていますが、講座の受講料は無料になりますか?	講座の受付で「大阪市立大学カード」をご提示頂ければ、受講料は無料となります。
定員を超えた場合は?	申し込みは先着順になっていますので、定員を超えた場合は、受付を終了させていただきます。定員を超えた場合は、ホームページや文化交流センター窓口でお知らせします。
受講先(会場)へ車で行くことは可能ですか?	駐車場・駐輪場はございませんので、車・バイク・自転車でのご来場はご遠慮ください。会場は交通至便な大阪駅前第2ビルにありますので、公共交通機関のご利用をお願いします。(詳しい場所は会場MAPをご覧ください)
キャンセルはできますか?	キャンセルされる場合は、電話(06-6344-5425)またはFAX(06-6344-5524)にてご連絡ください。
講座が中止になることはありますか?	自然災害等やむをえない理由により、開催中止となる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。 ※大阪府下に暴風警報又は特別警報のいずれかが発令中の場合、公開講座は中止となります。また、講座開始前に、大阪府下に暴風警報又は特別警報のいずれかが発令され、午後3時を過ぎても解除されない場合、公開講座は中止となります。
当日の受付は何時からですか?	講座開始30分前より、文化交流センターホールにて受付を開始します。受講票の提示をお願いします。また、大阪市立大学の学生は、必ず学生証を提示してください。
受講票を紛失しました。	文化交流センター窓口にて手続してください。再発行等の手続を行います。
事前に講座で使用する資料を送ってもらうことは可能ですか?	資料の事前配付は行っていません。当日に配付します。
資料のみの販売はしていますか?	開講月内であれば500円で販売しておりますが、完売した場合は終了します。配付資料のない講座、事情により事後販売できない講座もありますので、ご了承ください。
先生や受講生の連絡先を教えてくださいませんか?	個人のプライバシーの保護のため、お教えすることはできません。
自宅での復習のため、講座の録音・写真撮影をしたいのですが…?	講座の録音・録画・写真撮影等は、著作権や肖像権ならびに個人情報等の観点から、認められません。ご遠慮ください。

大阪市立大学公開講座 受講申込書

受講申し込みする講座の受講希望欄に○を記載してください。

9月5日(木)～9月26日(木)		災害時の弱者・福祉・健康を考える		
受講希望	開講日	個別テーマ	講師	講座の難易度
<input type="radio"/>	9月5日(木)	もしも災害が起こったら — 子ども(病児・障がい児を含む)を守るために大人ができること、子ども自身ができること —	平谷 優子 横山 美江	★
<input type="radio"/>	9月12日(木)	災害を乗り越えるための“つながり”	野村 恭代	★★
<input type="radio"/>	9月19日(木)	災害時要援護者としての外国籍住民支援と災害福祉への課題	全 泓奎	★★
<input type="radio"/>	9月26日(木)	災害時の避難に必要な体力 — 自助・共助の観点から —	今井 大喜	★

10月1日(火)～10月23日(水)		私たちの暮らしとお金を考える		
受講希望	開講日	個別テーマ	講師	講座の難易度
<input type="radio"/>	10月1日(火)	人生100年時代を見据えた資産管理	田中 政広	★★★★
<input type="radio"/>	10月8日(火)	歴史統計の推移から考える証券投資 — 何が起きたのか、何が起きるのか? —	増山 豊	★★★★
<input type="radio"/>	10月15日(火)	資産運用の基礎と市場展望	鈴木 望	★★★★
<input type="radio"/>	10月23日(水)	人生100年時代に備える資産運用のコツ — コア・サテライト戦略の考え方 —	茂木 大輔	★★★★

11月5日(火)～11月26日(火)		中世の渡辺と渡辺党 — 淀川をめぐる武士団と信仰 —		
受講希望	開講日	個別テーマ	講師	講座の難易度
<input type="radio"/>	11月5日(火)	水の中世武士団渡辺党	生駒 孝臣	★★
<input type="radio"/>	11月12日(火)	大川の変遷の中から中世の地形を読む	趙 哲済	★★
<input type="radio"/>	11月19日(火)	中世の天満と天神社	大澤 研一	★★
<input type="radio"/>	11月26日(火)	中世「なにわ」はどんな場所だったか — 難波宮廃絶から蓮如・大坂御坊建立のあいだ —	仁木 宏	★★

11月7日(木)～12月17日(火)		文化交流センター講座		
受講希望	開講日	個別テーマ	講師	講座の難易度
<input type="radio"/>	11月7日(木)	加齢黄斑変性診療のすべて	本田 茂	★★
<input type="radio"/>	11月21日(木)	「浮世絵」を楽しむ — 広重の名所絵から「浪花百景」へ —	菅原 真弓	★★★★
<input type="radio"/>	12月3日(火)	建築が物語る神戸・大阪・京都の個性	倉方 俊輔	★★
<input type="radio"/>	12月5日(木)	「えきがく」入門	鶴川 重和	★
<input type="radio"/>	12月11日(水)	「見る」能力 — タンパク質で理解する目で光を感じるしくみ —	寺北 明久	★★
<input type="radio"/>	12月12日(木)	化学から見たエネルギー問題	山田 裕介	★★
<input type="radio"/>	12月17日(火)	部落問題の「語りにくさ」について	廣岡 浄進	★★

公開講座の時間は、いずれも午後6時30分から午後8時までです。

フリガナ				
ご氏名				
ご住所	大阪市内 ・ 大阪府内(大阪市内外) ・ その他			
性別	男 ・ 女	ご年齢	10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代以上	
電話番号	() -	FAX番号	() -	
学籍番号(大阪市立大学の学生のみ): ()				

※ご記入いただいた個人情報は、公開講座等の案内、事務資料の作成に使用し、目的以外の利用はいたしません。

《FAXでのお申し込み》06-6344-5524 ※送信される際は、必ず番号を確認してください。